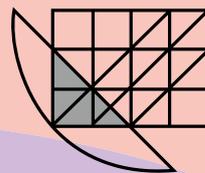


博物館だより



和歌山県立博物館

WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM

No.26

2021.3

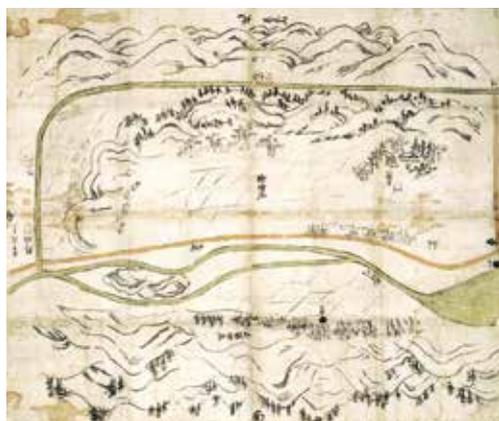
創立50周年記念特別展

きのくにの名宝——和歌山県の国宝・重要文化財——

豊かな自然に恵まれたきのくに——和歌山県には、高野山や熊野三山に代表される全国的な霊場が開かれ、紀の川流域には権門寺社の荘園が多数分布し、また紀伊徳川家のお膝元として高い水準の文化や文芸が発達しました。そしてそのような歴史的環境を背景にして多くの優れた文化財が残されてきました。

和歌山県立博物館はそれらの文化財を調査し、収集し、公開する施設として昭和46年(1971)に和歌山城二の丸跡に設立され、今年はその数えて50周年の節目となります。この間、平成6年(1994)には和歌山城南側の新館に移転し、旧館から数えると特別展・特別陳列を107回(2ページ参照)、企画展等を118回開催して参りました。

50年前、旧館開館記念には特別展「きのくにの文化財宝物展」を、そして27年前、新館開館記念には特別展「きのくにの文化財」を開催し、節目には全国に誇る和歌山の優れた文化財を紹介してきました。50周年の区切りにあたる今年、「きのくにの名宝——和歌山県の国宝・重要文化財——」を10月16日(土)～11月23日(火・祝日)の会期で開催し、50年の調査研究と展覧会開催の成果を踏まえて、多数の名品を紹介いたします(紀の国わかやま文化祭2021関連行事)。



重要文化財 紀伊国梓田荘絵図 宝来山神社蔵



重要文化財 南蛮胴具足 紀州東照宮蔵



国宝 熊野速玉大神坐像 熊野速玉大社蔵



重要文化財 雪梅図 円山応挙筆 草堂寺蔵



国宝 古神宝のうち裱 熊野速玉大社蔵

和歌山県立博物館 50年の歩み—特別展・特別陳列から—

1971年 4月	旧和歌山県立美術館を改装のうえ開館
4月	開館記念特別展「きのくにの文化財宝物展」
9月	特別陳列「黒潮国体夏季大会記念展」
10月	特別展「県指定文化財特別展」
1972年 3月	特別陳列「淡島神社の人形」
6月	特別陳列「浦島座の人形」
8月	特別陳列「能面」
11月	特別展「南紀高松焼」
1973年 2月	特別展「真砂幽泉」
4月	特別陳列「根来寺の能面」
9月	特別展「岩橋広隆」
11月	特別陳列「法燈国師」
1974年 2月	特別展「南紀男山焼」
9月	特別展「南紀寺院の長沢蘆雪画」
1975年 2月	特別展「瑞芝焼」
10月	特別展「蘆雪画の展開」
1976年 2月	特別展「偕楽園焼」
10月	特別展「紀州の社寺縁起絵」
1977年 2月	特別展「紀州の諸窯」
10月	特別展「寛政期の蘆雪」
1978年 3月	特別展「野呂介石」
10月	特別展「紀州の絵馬」
1979年 3月	特別展「桑山玉洲」
10月	特別展「紀州徳川家と茶道」
1980年 2月	特別展「有田川流域の仏像」
10月	特別展「那智経塚」
1981年10月	特別展「紀ノ川流域の仏像」
1982年 4月	特別展「紀州の絵とやきもの」
10月	特別展「紀州の武具」
1983年 9月	特別陳列「祇園南海」
10月	特別展「わかやま県の市町村が指定した一ふるさとの文化財」
1984年 5月	特別陳列「山水画を観る」
10月	特別展「きのくにの画人たち」
1985年 4月	特別陳列「紀州の絵とやきもの」
11月	特別展「熊野もうで」
1986年 4月	特別陳列「紀州のやきもの」(第1回)
10月	特別展「祇園南海」
1987年 4月	特別陳列「紀州のやきもの」(第2回)
10月	特別展「神々のかたち—仮面と神像—」
1988年 4月	特別陳列「紀州のやきもの」(第3回)
10月	特別展「田中敬忠コレクション—きのくにの香り」
1989年 4月	特別陳列「紀州のやきもの」(第4回)
11月	特別展「紀州東照宮の名宝」
1990年 4月	特別陳列「紀州のやきもの」(第5回)
10月	特別展「紀州東照宮の歴史」
1991年 4月	特別陳列「紀州のやきもの」(第6回)
1992年 1月	特別展「長保寺の文化財—仏画と経典—」
10月	特別展「和歌浦玉津島神社—名宝・歴史・風景—」
1993年 2月	特別陳列「新発見 川中島合戦図屏風の世界」「日本刀の世界」
1994年 7月	和歌山城南側、現在の地に移転して新館開館
7月	新館開館記念特別展「きのくにの文化財」「きのくにの歩み—人々の生活と文化—」
10月	特別展「紀州史絵物語—歴史資料としての絵画作品—」
1995年 4月	特別展「八代將軍吉宗と紀州徳川家」
9月	特別展「紀州徳川家 陶磁の美」
1996年 9月	特別展「明恵 故郷で見た夢」
1997年 2月	特別展「有田川下流域の仏像」
4月	特別展「遙かなるエジプト展—古代人の生活を探る—」
10月	特別展「戦国合戦図屏風の世界」
1998年 4月	特別展「東照宮の文化財1 家康と頼宣」
9月	特別展「中国・山東省の至宝」
1999年 4月	特別展「京から熊野へ」
7月	特別展「熊野ってなんだろ?」
10月	特別陳列「屏風絵と絵巻物—名所・合戦・物語—」
2000年 4月	特別展「蘆雪—ROSETSU—」
9月	特別展「葵 徳川三代」
2001年 4月	特別陳列「きのくにの文化財2001」
10月	特別展「歴史のなかの“ともぶち”—鞆淵八幡と鞆淵荘—」

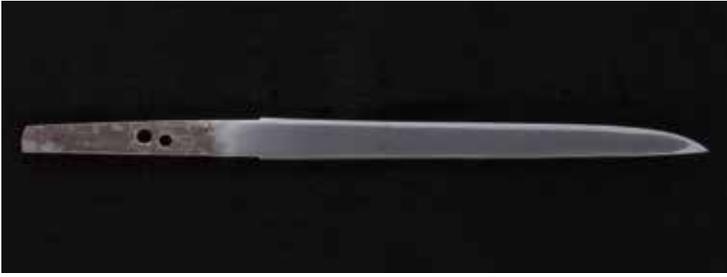
2002年 1月	特別展「信仰と美術—独立行政法人国立博物館・国立美術館巡回展—」
4月	特別展「根来寺の能面—紀伊徳川家ゆかりの品—」
10月	特別展「根来寺の歴史と文化—興教大師覚鑿の法灯—」
2003年 4月	特別陳列「紀伊狩野の絵画—収蔵品を中心に—」
10月	特別展「天野の歴史と芸能—丹生都比売神社と天野の名宝—」
2004年 4月	特別展「きのくにの歴史と文化」
10月	世界遺産登録記念特別展「空海と高野山」
2005年 4月	特別展「きのくにに仮面の世界—高野山周辺の芸能と紀伊徳川家の能—」
10月	世界遺産登録記念特別展「熊野速玉大社の名宝—新宮の歴史とともに—」
2006年 4月	特別展「和歌祭—祭を支えた人々、祭に込めた思い—」
10月	世界遺産登録記念特別展「熊野・那智山の歴史と文化—那智大滝と信仰のかたち—」
2007年 4月	特別展「文人墨客—きのくにをめぐる—」
10月	世界遺産登録記念特別展「熊野本宮大社と熊野古道」
2008年 4月	特別展「田辺・高山寺の文化財」
10月	特別展「没後四〇〇年 木食応其—秀吉から高野山を救った僧—」
2009年 4月	特別展「きのくにの精華—和歌山県立博物館寄託の国宝・重要文化財—」
9月	世界遺産登録5周年記念特別展「熊野三山の至宝—熊野信仰の祈りのかたち—」
10月	特別展「野呂介石—紀州の豊かな山水を描く—」
2010年 4月	特別展「移動する仏像—有田川町の重要文化財を中心に—」
10月	特別展「京都・安楽寿院と紀州・あらかわ。—木食応其を支えた僧・覚栄の事績を中心に—」
2011年 4月	特別展「華麗なる紀州の装い—かみ・ひと・ほとけをつなぐ—」
10月	特別展「中世の村をあるく—紀美野町の歴史と文化—」
2012年 4月	特別展「災害と文化財—歴史を語る文化財の保全—」
10月	特別展「高野山麓 祈りのかたち」
2013年 4月	特別展「桑山玉洲のアトリエ—紀州三大文人画家の一人、その制作現場に迫る—」
9月	特別展「黄河と泰山—中華文明の源と世界遺産—」
10月	特別展「紀伊国柿田荘と文覚井—水とともに生き、水を求めて闘う—」
2014年 4月	特別展「きのくにの城と館—紀中の戦国史—」
10月	世界遺産登録10周年記念特別展「熊野—聖地への旅—」
2015年 4月	特別展「高野山開創と丹生都比売神社—大師と聖地を結ぶ神々—」
9月	高野山開創1200年記念特別展「弘法大師と高野参詣」
2016年 4月	特別展「わたしたちのたからもの—和歌山県立博物館の名品展—」
9月	特別展「戦乱の世から泰平の世へ—16~17世紀の紀北・泉南地域—」
10月	特別展「蘆雪潑刺—草堂寺と紀南の至宝—」
2017年 4月	特別展「東照宮の文化財Ⅱ—没後400年 家康の遺宝—」
10月	特別展「道成寺と日高川—道成寺縁起と流域の宗教文化—」
2018年 4月	特別展「紀伊徳川家 やきもの新時代—富国と栄華の19世紀—」
10月	特別展「西行—紀州に生まれ、紀州をめぐる—」
2019年 4月	特別展「仏像と神像へのまなざし—守り伝える人々のいとなみ—」
10月	徳川家入国400年記念特別展「徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝」
2020年 4月	特別展「戦乱のなかの熊野—紀南の武士と城館—」
10月	創建1250年記念特別展「国宝粉河寺縁起と粉河寺の歴史」
2021年 4月	特別展「きのくに 刀剣ワールド」(予定)
10月	創立50周年記念特別展「きのくにの名宝—和歌山県の国宝・重要文化財—」(予定)
12月	特別展「皇室の至宝—宮内庁三の丸尚蔵館名品展—」(予定)

特別展

きのくに刀剣ワールド

4月24日(土)～6月6日(日)

きのくに―和歌山県では、南北朝時代以来、刀工が作り出した作品が確認できるようになり、江戸時代にかけて時代の順に入鹿鍛冶・粉河鍛冶・文珠鍛冶・石堂鍛冶という四つの刀工の系譜がみられます。これら紀州の刀工の洗練された作品を中心に、寺社に奉納された刀剣も含め、名刀の数々、紀州の金工による刀装具を紹介します。



短刀 銘 国次 和歌山県立博物館蔵



重要文化財 刀 銘 長曾祢興里入道馬徹 紀州東照宮蔵



和歌山県指定文化財 刀 銘 於南紀重国造之 和歌山県立博物館蔵



刀 銘 於武州江戸安廣造之 和歌山県立博物館蔵

特別展

皇室の至宝―宮内庁三の丸尚蔵館名品展―

12月4日(土)～令和4年1月23日(日)
(12月29日(水)～1月3日(月)は休館)

皇居東御苑内にある三の丸尚蔵館は、皇室から寄贈された美術品を保存・公開する宮内庁所管の博物館です。現在、令和7年(2025)の完成をめざして施設建て替え工事中の三の丸尚蔵館では、この間所蔵する美術品を地方で公開・活用することをめざしており、紀の国わかやま文化祭2021の開催に関わって、このたび和歌山県立博物館において展示することになりました。

きのくに―和歌山県ゆかりの文化財を含め、皇室に伝来してきた貴重な文化財を鑑賞できる貴重な機会です。



宮内庁三の丸尚蔵館

ロビー展

さわって学ぶわかやまの歴史

―さわられる文化財レプリカとさわって読む図録―
10月30日(土)～11月23日(火・祝)

当館では、県立和歌山工業高等学校、和歌山大学教育学部と連携して製作した3Dプリンター製のさわられる文化財レプリカと、県立和歌山盲学校の協力を得て作製した特殊な透明盛上印刷と通常の印刷を併用したさわって読む図録を作成し、視覚に障害のある方の博物館利用の促進を図ってきました。紀の国わかやま文化祭2021(第36回国民文化祭・わかやま2021、第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会)の開催期間に合わせて、当館が進めてきた博物館展示のユニバーサルデザイン化の取り組みをご紹介します。



企画展	企画展	特別展	ロビー展	創立50周年 記念特別展	企画展	夏休み企画展	企画展	特別展	企画展	常設展
和歌祭創始400年記念 和歌祭と和歌の浦	仏像は地域とともに — みんなで守る文化財 —	皇室の至宝 — 宮内庁三の丸尚蔵館名品展 —	さわつて学ぶわかやまの歴史 — さわられる文化財レプリカと さわつて読む図録 —	きのくにの名宝 — 和歌山県の国宝・重要文化財 —	きのくにの宗教美術 — 神仏のさまざまな姿 —	かたちのいみ えがかれたものがたり	聖地の風景 — 寺社絵図の世界 —	きのくに 刀剣ワールド	きのくにの物語絵 — 絵解きの聖地・和歌山 —	きのくにの歩み — 一人々の生活と文化 —
3月12日(土)～ 4月17日(日)	1月29日(土)～ 3月6日(日)	12月4日(土)～ 1月23日(日)	10月30日(土)～ 11月23日(火祝)	10月16日(土)～ 11月23日(火祝)	8月28日(土)～ 10月3日(日)	7月17日(土)～ 8月22日(日)	6月12日(土)～ 7月11日(日)	4月24日(土)～ 6月6日(日)	3月13日(土)～ 4月18日(日)	4月1日(木)～ 10月3日(日) 12月4日(土)～ 3月31日(木)
令和4(2022)年は、和歌祭が江戸時代初めの元和8(1622)年に創始されてから400年の節目にあたります。この企画展では、和歌祭400年の歴史を振り返るとともに、その舞台となった景勝地・和歌の浦についても紹介します。	県内の各地で大切に守り伝えられてきた仏像や神像。集落の人口減少や高齢化で管理が難しくなり盗難被害も発生しています。大切な文化財をいかに未来へと継承していくか、「みんなが守る」ためのあり方を、展示を通じて考えます。	宮内庁三の丸尚蔵館は、皇室から寄贈された美術品を保存・公開する博物館です。現在、建替工事中の三の丸尚蔵館から作品をお借りし、和歌山県にかかわる資料を含め、皇室に伝来した貴重な文化財を鑑賞できる貴重な機会となります。	当館と県立和歌山工業高等学校、和歌山大学学生が共働して作製した3Dプリンター製さわられる文化財レプリカと、県立和歌山盲学校の協力を得て作製した点字・触図でさわつて読む図録を紹介。全国障害者芸術・文化祭わかやま大会関連行事。	和歌山県立博物館は、昭和46(1971)年の創立から50周年を迎えます。この間の和歌山県立博物館の活動をふまえ、県内外に残された、きのくに・和歌山県の国宝・重要文化財を中心に展示します。紀の国わかやま文化祭2021関連行事。	和歌山県内には多くの寺社があり、祈りのかたちをあらわした数々の優れた仏像や仏画が伝わっています。近年の県立博物館の調査活動により新たに確認された資料を中心に、神仏のさまざまな姿を、優れた宗教美術の数々から紹介します。	工芸作品に用いられたモチーフや、絵画のテーマなどに注目して、きのくに・和歌山県ゆかりの文化財を紹介します。意匠や図像の理解を深めることで気づく、作品鑑賞の新たな魅力をお伝えします。	和歌山県内には、高野山や熊野三山をはじめとする多くの霊場(寺社)があり、様々な目的によって描かれた寺社の図面(絵図)が残されています。寺社の景観を描いた絵図を通じて、紀伊国の寺社の様相とその魅力を紹介いたします。	南北朝時代以降、紀州で活躍した四つの系統の刀工(入鹿鍛冶・粉河鍛冶・文珠鍛冶・石堂鍛冶)による作品を中心に、社寺へ奉納された名刀、紀州金工による刀装具をあわせて紹介します。久しぶりの刀剣展です。	きのくに・和歌山県には、寺社の成り立ちなどの物語を分かりやすく美しい絵で語る、絵巻物をはじめとするさまざまな作品が残されています。きのくにの「絵解き文化」に注目しながら、さまざまな物語絵の作品を紹介します。	三万年にわたるきのくに・和歌山県の歴史を、人々の生活と文化を主題として、七つのコーナーに分けて、時代の順にわかりやすく展示します。なお、秋期特別展の開催期間中は、常設展示を行っておりませんので、ご了承ください。

お知らせ

博物館では、学校行事での利用はもちろん、職場体験やミュージアムボランティア・教員研修など、学校と連携した教育・普及活動にも取り組んでいます。詳しくは当館学芸課までお問い合わせ下さい。またホームページにも案内を掲載しています。

URL <http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp>

**和歌山県立近代美術館
(博物館となり)の展覧会**

疎密考
もうひとつの世界
「ミニマリズム」の部屋
特別展 和歌山の近代美術の精華
コレクション名品鑑
20世紀からあみかけ。近代美術のたのしみ

4月24日～5月30日
6月8日～7月18日
8月15日～10月10日
10月23日～12月19日
1月30日～3月23日
2月10日～3月27日

和歌山県立博物館 博物館だより 第26号

編集 和歌山県立博物館
〒640-0813 和歌山市吹上二丁目4番14号
TEL (073) 436-8670
<http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp>
令和3年(2021)3月発行

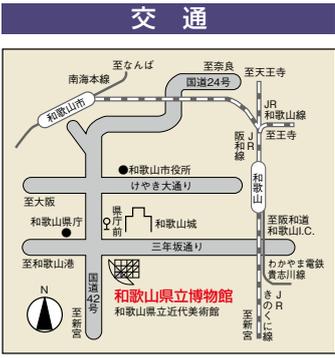
博物館の利用案内

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 駐車場

休館日 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始。展示替えや改修工事とともなって臨時休館する場合があります。詳しくは博物館までお問い合わせください。

入館者	2時間まで	無 料
	以後30分ごと	100円

※大型バスでご利用の場合はお問い合わせ下さい。



入館料

入館者	〈常設展・企画展〉		〈特別展 きのくに 刀剣ワールド・皇室の至宝〉 (常設展示も行っていきます)	
	一般	大学生	一般	大学生
個人	280円	170円	520円	310円
団体	230円	140円	420円	250円

※高校生以下、65歳以上、障害者手帳の交付を受けている方、県内に在学中の外国人留学生は無料です。
※企画展示室の展示替え期間中は常設展示のみとなります。

入館者	〈特別展 きのくにの名宝〉 (常設展示は行っていません)	
	一般	大学生
個人	1,000円	800円
団体	800円	600円

まちなかの博物館・美術館をめぐる!

和歌山市内5館(和歌山県立近代美術館、和歌山県立博物館、和歌山市立博物館、和歌山城天守閣、わかやま歴史館)の相互割引制度がありますので、是非ご利用ください。